

## ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

### 1. 基本情報

ふりがな	かとう ひろし			
氏名	加藤 博敏			
所属	株式会社 ピーエイ			
役職	代表取締役会長兼社長			
活動エリア	全国			
連絡先	住所	〒	152-0011	
	電話番号	03-6885-1010		
	メールアドレス	kato@pa-co-ltd.co.jp		
キャッチコピー	福島復興支援を通じて培った多彩なネットワークを活用し、企画・プロデュースから運営までHands-onで地域活性化を推進して参ります。			
自己PR	<p>東日本大震災を契機に復興創生事業に深く関わり、人材育成、Uターン促進、6次化産業支援、シティープロモーション、市街地活性化など、多岐にわたる分野で企画・プロデュース・運営を一貫して実行してきました。自治体や大企業、地域住民と連携しながら培ったノウハウと実績は、各地の地域活性化へと広がりを見せています。現場に根ざした実践的なアプローチと、持続可能な地域づくりを推進する確かな経験が、私の最大の強みです。</p> <p>大都市にも歴史と文化に彩られた素晴らしい地域があり、地方にも地元を愛する元気な人々がいます。震災があって初めてふるさとの価値がわかりました。地域の人々が生き生きと働き、暮らしを楽しみ、日常的に交流できる環境を整えば、自分の住む地域に誇りを持てるはずです。そんな地域を一つでも多く増やせるよう、これからも努力してまいります。</p>			
関連ホームページ	名称		アドレス	
	株式会社ピーエイ		<a href="https://pa-co-ltd.co.jp/">https://pa-co-ltd.co.jp/</a>	
	(一)ふくしまチャレンジはじめっぺ		<a href="https://www.fukushima-challenge.org/supporters/0001.html">https://www.fukushima-challenge.org/supporters/0001.html</a>	
	万代テラスハジマリヒロバ		<a href="https://www.bandaiterrace-hajimarihoba.com/">https://www.bandaiterrace-hajimarihoba.com/</a>	
崇仁新町		<a href="https://www.bandaiterrace-hajimarihoba.com/">https://www.bandaiterrace-hajimarihoba.com/</a>		

### 2. 略歴・受賞歴

略歴・受賞歴	<p>福島県福島市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆昭和61年 有限会社ピーエイ設立、代表取締役社長</li> <li>◆平成2年 有限会社ピーエイを株式会社ピーエイに改組、代表取締役社長(現任)</li> <li>◆平成25年 ふくしま復興塾の創設者・塾長(現在 ふくしま創生塾に名称変更)</li> <li>◆平成26年 福島県と連携し新たな復興支援としての福島県知事直轄「ふくしまからはじめよう。未来づくり“HAJIMEPPE”」の事務局となる</li> <li>◆平成27年 一般社団法人 ふくしまチャレンジはじめっぺ設立・創立者・代表理事</li> <li>◆平成29年 一般社団法人 渉成楽市洛座設立・理事就任(産官学+地域の4事業者が連携・協業した団体)</li> <li>◆平成30年 UR都市機構と地域まちづくり支援事業に係る事業パートナー協定締結</li> <li>◆令和3年 一般社団法人京都伏見十六会 発起人共同代表理事</li> <li>◆令和3年 新潟県「万代テラスにぎわい創出事業」受託</li> <li>◆令和4年 福島県双葉郡楳葉町と株式会社ピーエイとの連携と協力に関する包括協定締結</li> <li>◆令和4年 福島県双葉郡楳葉町アンバサダー任命</li> <li>◆令和6年 新潟県「万代テラス賑わい創出のための公共還元型民間活用導入事業」30年間の受託事業者となる</li> <li>◆令和7年 総務省地域力創造アドバイザー認定</li> </ul>
--------	--

### 3. 取組分野

観光	( )
● 移住・定住・関係人口	( 地域おこし協力隊・地域おこし協力隊インターン支援、地域活性化起業人制度による社員派遣 )
農林水産業	( )
● 起業支援	( ふくしま創生塾により12期継続の復興支援と若者起業家育成 )
● まちなか再生	( 「崇仁新町」「るてん商店街」「クラフトビレッジ西小山」「万代テラスハジマリヒロバ」など地域と連携したプロジェクトを手掛け商業や文化交流の拠点づくりにより賑わいを創出 )
集落再生	( )
環境	( )
その他	( )

### 4. ふるさと財団での実績

外部専門家(活用助成)	◆2025年度 鹿児島県三島村 外部専門家短期派遣事業
-------------	-----------------------------

## 5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1)事業名 :ふくしま創生塾(旧ふくしま復興塾)</p> <p>(2)対象地 :福島県 県内外</p> <p>(3)事業目的:県内外の若者を対象に、地域活性化や起業の為の若者塾を開設し、20年、30年後の日本のリーダーを育てていこうという趣旨で人材育成にあたり、現在も支援しています。</p> <p>(4)事業内容:平成25年5月から現在迄継続し、「ふくしま創生塾 旧ふくしま復興塾」を主宰し塾長として、県内外の若者を対象に、福島の課題を解決するビジネスプランを自分で考え起業を後押しするカリキュラムを企画運営し、講師やメンターとして活動を続けプロジェクト全体のコーディネートも実施しています。</p> <p>(5)事業による成果:創塾13年間で、のべ200名以上の卒業生を送り出し、起業家を育成しています。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1)事業名 :住宅地区改良事業上の事業用地の暫定活用</p> <p>(2)対象地 :京都府 京都市</p> <p>(3)事業目的:京都市所有の不動産使用許可を請け、京都駅から東に徒歩10分圏内という観光の入口として最適な場所に相応しい京都を代表するマーケット「るてん商店街」の展開</p> <p>(4)事業内容:収益は参加事業者からの参加手数料を主な収益源とし、週末を中心にギャラリーや芸術祭などのスペース運営をし、平日は駐車場運営により継続可能な事業となり、新たな観光名所として地域の活性化を図る。</p> <p>(5)事業による成果:るてん商店街で福島県産品の販売も展開し、復興支援の一環として福島県内企業の認知度向上や観光誘致を後押ししました。京都の伝統工芸を気軽に体験できる場を開き、崇仁地区の賑わいと文化継承に貢献しました。能登半島地震チャリティーイベントでは、舞子や尼僧により和颯燭の灯りのもと祈りを捧げ、支援の輪を広げました。学生による「物語交換市」では、思い出の品に込められたストーリーを分かち合い、温かな交流の場を創出しました。「竹あかり」が、るてん商店街→新京極商店街→納屋町商店街へと繋がり、幻想的な光の流れが生まれ、その広がりがYahooニュースにも取り上げられました。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1)事業名 :西小山駅前地区地域まちづくり支援事業により賃貸用不動産利用を開始しヒロバ型商業施設「クラフトビレッジ西小山」の運営を開始</p> <p>(2)対象地 :東京都 目黒区</p> <p>(3)事業目的:周辺地域の不燃化や共同化の推進に役立てること及び地域と人との新たな交流の場として地域まちづくり用地を活用し、人の動き・交流による街の賑わいを地元と協力しながら創出する</p> <p>(4)事業内容:UR都市機構と地域まちづくり支援事業に係る事業パートナー協定を締結し、UR都市機構と共に地元(町会、商店会、地元事業者など)と協力しながら、地域の防災性の向上及び街の賑わいの創出と地域交流の活性化に資する取組を行いました。まちなか再生の分野では、「崇仁新町」「るてん商店街」「クラフトビレッジ西小山」「万代テラスハジマリヒロバ」など、地域と連携したプロジェクトを手掛け、商業や文化交流の拠点づくりを進めてきました。さらに、各地方自治体と連携し、シティブロモーションを強化することで、都市と地域を力強く繋ぎながら地域ブランドの確立にも貢献し地域の活性化を実現しています。</p> <p>(5)事業による成果:地域の不燃化や共同化のアイデア提供を通じて、新たな交流拠点として地域活性化に貢献しています。官民連携で賑わい創出を目指し、様々なイベントを実施しています。北海道、新潟、福島、京都、福岡の物産販売会も東京で開催し販路拡大を推進しています。さらに障害者施設を応援する為に販売支援も実施しました。これらの取り組みを通じ、地域活性化の実現に寄与しています。</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1)事業名 :地域おこし協力隊受入れ事業及び地域おこし協力隊インターンプログラム作成</p> <p>(2)対象地 :福島県双葉郡楢葉町、福島県大沼郡金山町、新潟県新潟市</p> <p>(3)事業目的:地域づくりや賑わいの創出に寄与し、協力隊員と地域住民との交流を深め関係人口創出の裾野を広げる。また、協力隊インターン企画運営業務を請け負い、実際の地域おこし協力隊の業務に従事する事や業務の疑似体験、地域貢献活動などを通じ地域おこし協力隊本体への応募につなげる事と、その先には移住定住の機会創出を目的とする。</p> <p>(4)事業内容:地域おこし協力隊制度を活用し、地域の魅力を高めるまちづくりの推進や賑わいの創出に貢献する。          ・楢葉町では「若者の成長を応援する町」として関係拡大事業を実施。また地域おこし協力隊インターンプログラムを作成し地域住民との交流を通じた体験ツーリズムと、地域課題解決プログラム組成のためのフィールドワークを実施。          ・金山町では、協力隊への持続的な応募者確保(特に若い世代)や、やる気があり町に有益な活動をどの程度出来るかを考えている応募希望者が最初の一步を踏み出しやすくするために応募者の呼び込みとコーディネートを行う。          ・新潟市では、テレワーカー移住・定住促進にかかる地域おこし協力隊の募集・採用及び活動支援業務により移住定住を促進し、行政の考え方に捉われない柔軟な発想で大都市に住むテレワーカーを新潟市に呼び込み強化を図る為、適切な人材を市が活用するために必要な支援を行う。</p> <p>(5)事業による成果:令和5年度は、楢葉町地域おこし協力隊支援業務3名、新潟市テレワーカー移住・定住地域おこし協力隊の募集及び採用及び活動支援3名、楢葉町地域おこし協力隊インターンプログラム作成業務により59名を組成しました。          令和6年度は、楢葉町地域おこし協力隊支援業務6名、新潟市テレワーカー移住・定住地域おこし協力隊の募集及び採用及び活動支援3名、金山町地域おこし協力隊インターン企画運営業務2名、楢葉町地域おこし協力隊インターンプログラム作成業務38名を組成しました。(令和6年12月時点)</p> <p>起業家育成にも力を入れ、地域おこし協力隊の経験者が法人を立ち上げる際の支援を行うなど、持続可能な地域活性化に向けた取り組みも推進しています。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績</p> <p>◆令和3年に一般社団法人京都伏見十六会 発起人共同代表理事となり、一般社団法人京都伏見十六会「第一回人づくり塾」「第二回人づくり塾」を開催し「共生」、「共創」をキーワードに、ひとり・ものづくり・まちづくり・ものがたりづくりを、京都伏見から創造・発信しています。</p> <p>◆令和3年から新潟市万代島地区ににぎわい創出と活性化を目的とした「万代テラスにぎわい創出事業」展開と令和7年 新潟県「万代テラス賑わい創出のための公共還元型民間活用導入事業」30年間の受託事業者となりました。</p> <p>◆令和6年から公益社団法人京都市観光協会に社員を派遣しています。</p> <p>◆令和7年 5000万ダウンロードの「乗換案内」アプリのシールド株式会社と連携による自治体DMOと観光まちづくりの支援を開始しました。</p> <p>◆福島県双葉郡楢葉町のシティブロモーションの一環として、新たな特産品であるサツマイモを活用した六次化商品の販路拡大を支援し、令和6年6月よりJR東京駅・上野駅など首都圏の大手コンビニエンス23店舗での販売開始に伴うプロモーションを推進するとともに、令和6年12月から令和7年1月にかけて実施された店内放映による販売促進施策にアドバイザーとして関与しました。</p> <p>◆令和7年度より、北海道当麻町にアドバイザーとして着任し、関係人口拡大施策、町運営施設の財政健全化に向けた助言・指導などに取り組み始めております。</p>